
頂上で体験する健康の証

京本 2 0

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

頂上で体験する健康の証

【コード】

N9980J

【作者名】

京本20

【あらすじ】

僕と彼女のミサは、秋の紅葉を楽しむためにデートをしている・・・

僕と彼女のミサは、秋の紅葉を楽しむためにデートをしている。
高速道路をひた走り、大仙という高い山に向かっている。
高速の出口に差し掛かり、そのトラブルは起きた。

「（。ペ）ありゃ？ あれね？財布が無いぞ？

「僕も無いよ・・・

「ハア！！؟؟？

なんで、お前まで、忘れてんだよ！！

「だって・・・いつもデートはミサさんが先導してお金出してくれるから、つい財布を持つ習慣を忘れてしまっ・・・

「なんだとーーーー！！！！！！

男子たるものが、女に金を払わず気満々だとーーーー！！！！
そこに直れ！！

私が説教してやる！！

1分後・・・

・ 僕達は、料金所のオッサンに叱られ事務所へと連衡されてしまう・・・

事務所に行き着くと、担当者の方が対応してくれた。

担当者は電話を貸してくれ、友人か家族にお金を持ってくるように

うがー！

僕達は、金品に成る物を探した・・・
だが、見つからない・・・

「こつなったら、ミサさんの乳を担当者に――」

と、言いそうになったが、なんとか耐えて飲み込んだ。

僕は、迷った末に、車の荷台に置いてあった工具を使用して・・・

車の窓ガラスをはずした。

そのガラスを担当者に捧げ、この場を見逃してもらうことに成功した。

そうして僕は、不慮のトラブルを余裕で解決して、計画通りに大仙へと向かうのであった・・・。

・
・
・

僕達一行は、高速道路降り、大仙へとひた走る。

「オープンカーみたいで気持ち～～～～、（ ）（ ） きゃはーん

彼女は、超ご機嫌である。

僕達は、あっという間に、大仙のふもとに辿りつた。

ここからは車から降りて徒歩で山に登ることになる。
綺麗な紅葉を見ているとついルンルン気分になる。

「兵隊テンション山登る~~~~」

僕は、お気に入りの歌を口ずさみながら歩く……

10分後……

「へ~~~~いたい(汗 てんしょ~~~~ん、やま。)

「はあ、はあ、はあ(汗

「もうだめ、ミサさん歩けんよーー、僕はここで野宿するから、
先に行って~~~~」

目を覚ますと、僕は大仙の頂上にいた。
僕の頭には大きなタンコブがあるようだが、いままでの経験から何
となく想像はつく……

「ミサさん？」

(・・) (・・) (・・) (キョロキョロ

当たりを見回すと彼女が居ないようだ。

僕は心配になり、周辺を搜索する。

搜索を始めてまもなくの事……

草むらで、ケツを出した彼女が、

う~~~~ん(汗)

う~~~~ん(汗)

と、気張っていた・・・

(後書き)

便秘症は仕方がないよね~~~~

が) (ん)ー(ば) (ね)。(o)

追記

http://www.autoaid.co.jp/AutoA
idPress/gandas/kousoku/ryoukin
njoyo.htm

実際にトラブルになっても、まともな対処方法があるそうです

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9980j/>

頂上で体験する健康の証

2010年10月9日18時48分発行